（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	ごえん黒崎

公表日 2026年11月3日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		活動や利用児の状況に応じて、利用するスペースを分けています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	9		法令に基づいた人員配置を行っています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1	視覚的な手がかりや手順書を必要な場所に取り入れています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		毎日の清掃やアルコール消毒に努めています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		個室としても使用できるトレーニングルームを用意しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9		月1回ミーティングを行っています。また、業務上で気になる点が出てきた際は、職員間で話し合っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		年1回事業所評価を行っています。また、意見箱を設置しています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		月1回ミーティングを行い、3か月に1回職員面談を実施しています。また、気になる点は職員間で話し合っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	3	現在のところ、第三者による外部評価は実施していません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		月1回事業所内研修を実施しています。また、外部研修の情報を職員に周知しています。	
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		スタッフ間で対象児童に合わせた支援プログラムを話し合っています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		月1回モニタリングを行い、利用者や保護者の意向を取り入れた支援計画を作成しています。必要時には症例検討を行っています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		こどもたちの日々の様子を職員間で共有し、課題に応じた支援方法をチームで検討しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	9		目的や目標に沿った個々の支援プログラムを、随時確認できるようにしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1	保護者が見学・相談できる環境を整えています。支援記録や専門職の計画書、終礼等で、こどもの状況を職員間で共有しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		定期的にアセスメントを行い、本人や保護者のニーズに合わせた個別支援計画を作成しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		当日の担当者に申し送りを行うなど、活動プログラムの内容を共有しています。	

援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		こどもの特性や状況に応じて、適切なプログラムを提供しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		基本的には個別プログラムを実施していますが、状況に応じて小集団での活動も行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		朝礼時に、こどもの状況や変化点を職員全員が把握できるよう、情報共有を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	9		当日の支援内容やこどもの様子を振り返り、ヒヤリハットや必要な情報を職員間で共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		日々の支援を記録し、悩み事などもメモに整理しています。必要に応じて、関係者会議での情報共有にも活用しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		月1回、本人や保護者と情報共有を行い、モニタリングを実施しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	7	2	ガイドラインに沿って、こどもの発達や状況に応じた活動を取り入れ、社会生活を見据えた支援に努めています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		こどもの発達や状況に応じて複数の活動を提示するなど、自分で選択する機会を設けています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		児童発達支援管理責任者が参加し、必要に応じて他の職員が同行することもあります。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		必要に応じて、関係機関と段階的に連携できる体制を整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		行事予定などは主に保護者と情報共有しています。学校訪問や不登校支援などの際には、必要に応じて連絡を取り合っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9		必要に応じて、相談支援事業所を通じて就学前に利用していた関係機関と連絡を取り、情報共有を図っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9		卒業後のサービス移行に際しては、必要に応じて関係機関と連携し、支援内容等の情報共有に協力できる体制を整えています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	9		療育センターの職員に定期的に訪問してもらい、こどもへの療育指導や支援上の困りごとに関する助言を受けています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	7		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	5		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		保護者の見学時に、こどもの状況や課題について話し合っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9		必要に応じて、その場での相談や電話、LINEなどで情報共有を行い、気軽に相談していただける環境づくりを心がけています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		契約時に、運営規程や支援プログラム、利用者負担額などについて説明し、質問があればその場で回答しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		契約時に本人や保護者のニーズを聞き取り、支援内容を検討しています。新たなニーズにも、その都度対応しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	9		支援内容を説明し、同意を得たうえで署名していただいています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		必要に応じて、面談だけでなく、電話やLINEなどでも相談を受け付けています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	9		保護者会を開催し、保護者同士の交流機会を設けています。また、ポケモンカード大会や調理活動には、きょうだいも参加できます。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		契約時に苦情に関する相談窓口を案内し、適切に対応できるよう努めています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	1	主にLINEで月の利用予定や空き状況をお伝えしています。SNSの活用・運用には課題があります。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	1	個人情報を含む書類は鍵付き書庫に保管しています。廃棄時はシュレッダーを使用しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		こどもの状態に応じて視覚的な支援などを活用し、情報伝達や意思疎通ができるよう努めています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	5	商店街の祭りや屋外での散歩などを通して、地域住民との交流を行っています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		各種マニュアルを策定し、定期的に見直しや研修を行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		BCPを策定し、定期的に避難訓練などを実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		服薬などが必要なこどもについて、保護者から状況を聞き取り、確認しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1	食事の提供は行っていません。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		安全計画に基づいて研修や訓練を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	9		契約時や面談時に、非常時の対応について説明しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	1	終礼時にヒヤリハットなどの聞き取りを行っています。再発防止に向けた対策を検討する機会を設けています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		身体拘束等適正化委員会を設置し、マニュアル作成を行っています。保護者には重要事項説明書に基づき説明しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9		事業所内のミーティングで検討し、必要に応じて部門ミーティングや適正化委員会でも検討するようにしています	